

Sports Fukushima

スポーツふくしま

33
2015.3

(公財)福島県体育協会 〒960-8065 福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館
TEL 024-521-7896 FAX 024-521-7971



みんなでスポーツを! I will play sports together!



巻頭言

スポーツ振興に期待する

長年のご功績が認められまして、平成26年秋の瑞宝小綬章を受章されました、本協会副会長であり、福島陸上競技協会前会長の片平俊夫様に心からお祝いを申し上げます。

受賞祝賀会が1月24日、福島市のウェディングエルティで開かれ、光栄にも祝賀会に出席する機会を得ました。300人を超す県内の教育関係者や陸上競技関係者などが出席され、発起人代表である元葵高校校長(元本協会専務理事)の花井宣明様のあいさつ、前福島陸上競技協会会長(元本協会専務理事)の結城勝夫様、福島民報社社長高橋雅行様、教え子の山田由美子さんから祝辞がありました。

片平副会長は保健体育教員として多くの優秀な選手や指導者を輩出するとともに、県教育庁に勤務した思い出などを振り返り、「人に恵まれ、家族に支えられ、幸せと感謝でいっぱい。受章に恥じぬよう、本県の復興とスポーツの振興に尽くしていきたい」と謝辞を述べられました。特に、平成7年のふくしま国体では県教育庁競技力向上対策室の強化対策班長として「ふくしま国体」の成功に向けて、競技力向上に並々ならぬ情熱と使命感をもって取り組まれ、大会史上最高得点となる競技得点を獲得しての天皇杯並びに皇后杯獲得に導いてくださいました。当時のご苦勞やエピソードの紹介がありましたが、常に本県スポーツの競技力向上、スポーツ振興に思いを巡らせて必要なことはどんなことがあっても成し遂げなければならないとの強い意志と行動力で難局をクリアされたとのことでした。私などはやる前からできない理由を考え、前に進まないことがほとんどでありますので恥ずかしい限りであります。今年度開催された日本陸上競技選手権大会の誘致から開催に至るその原動力は、まさしく不可能を可能にする強い想いが多くの人を動かし実現したと思っています。そして、スポーツの持つ偉大な力を多くの皆様と共有し、県内の子どもたちに大きな財産を残していただきました。今後も健康にご留意され益々のご活躍とともに、ご指導をお願いするところで

ございます。

さて、スポーツには、するスポーツ、見るスポーツ、支えるスポーツがあるといわれています。生涯を通して健康な心と身体をつくることはもちろん、仲間作りや社会貢献など豊かな人生に生かせますし、スポーツには人々に夢や感動を与える力があり、地域の活性化には重要な要素であり復興には欠かせない要素でもあります。

全面改定された「スポーツ基本法」は「スポーツは、世界共通の人類の文化である」と定義しています。そして、夢であったオリンピック・パラリンピックが5年後の2020年に東京で開催されます。この大会に世界中から多くの人々が参加し、競い、交流することで、より豊かに、より多様に、より楽しめる感動的な大会になることは間違いありませんし、スポーツの魅力が膨らみ、地域が、日本が元気になるものと思います。また、平成29年には福島、山形、宮城3県を会場にした南東北インターハイも開催されます。若者のスポーツ環境にとって非常にいい流れになっています。子どもたちの夢も大きく膨らんでいます。現在勤めている田村高校でも昨年体育館に「目指せ2020東京オリンピック」の横看板を掲げ、生徒たちの夢を後押ししました。次代を担う若者の夢の実現に向けて、可能性をとことん信じ福島県選手が限りなく活躍できるよう今こそ力を結集させるときであると思います。

県内にも新たなスポーツの胎動が芽生え、サッカーの福島ユナイテッド、アイスホッケーの東北フリーブレイズに続き、バスケットボールでbjリーグ参戦の福島ファイヤーボンズ、プロ野球独立リーグ・BCリーグの福島ホープスなど、平成27年度は福島県のスポーツが大きく飛躍、加速する年になるものと期待しているところです。



公益財団法人福島県体育協会
副会長 長岐 博



- 1 巻頭言
- 2 第70回 国民体育大会冬季大会成績
- 3 第70回 国民体育大会冬季大会寄稿
- 5 平成26年度
公益財団法人福島県体育協会表彰式
- 7 うつくしまスポーツキッズ発掘事業
- 9 うつくしまスポーツキッズ発掘事業
オリンピックデー・フェスタinふくしま
- 10 日本体育協会公認 指導員・上級指導員養成講習会
第2・3回福島県スポーツ指導者研修会
- 11 県体協認定アスレティックトレーナー養成講習会
うつくしま広域スポーツセンター講演会・シンポジウム
- 12 パワーアップ・ジャパン from Tokyo
ふくしま大運動会inいわき
- 13 みんなでつくろう総合型!
総合型地域スポーツクラブ!
- 14 県体協賛助会員名簿・賛助会員加入のお願い
編集後記

【表紙写真説明】

●第70回 国民体育大会(写真提供:福島民友新聞社) クロスカントリー少年男子リレーチーム/スピードスケート(増子楓佳選手)
●スポーツ写真大募集出品作品(関根文夏さん) ●「うつくしまスポーツキッズ発掘事業」第1ステージ

第70回 国民体育大会冬季大会成績

1 参加状況

大会	区分	会期	開催地	団長	参加競技数	派遣人数			
						役員	監督	選手	合計
冬季大会	スケート アイスホッケー競技会	H27. 1/28(水)～2/1(日)	群馬県 前橋市 渋川市 高崎市	佐藤 英壽	2	11	5	33	49
	スキー競技会	H27. 2/20(金)～2/23(月)	群馬県 馬場村	渡部 孝美	1	9	10	45	64

2 競技成績

大会	区分	天皇杯				皇后杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順位	競技得点	参加得点	得点合計	順位
スケート競技会		13点	10点	23点	20位	6点	10点	16点	18位
アイスホッケー競技会		0点	10点	10点	13位	—	—	—	—
スキー競技会		6点	10点	16点	18位	5点	10点	15点	14位
合計		19点	30点	49点	27位	11点	20点	31点	20位

3 入賞状況

スケート競技		競技得点 13点	天皇杯 20位	皇后杯 18位							
種別	種目	順位	得点	選手名	所属						
成年男子	スピード1000m	8	1	古川 耀	山梨学院大学 4年						
成年女子	スピード1500m	6	3	水澤 彩佳	日本体育大学 1年						
	スピード2000mR	7	2	吾妻 優	山梨学院大学 4年						
少年男子	スピード2000mR	6	3	渡邊 唯	山梨学院大学 4年						
				古川 幸樹	ノボルディスクファーマ(株)						
				水澤 彩佳	日本体育大学 1年						
				鈴木 大地	安積高等学校 2年						
				水澤 拓海	安積高等学校 3年						
少年女子	スピード500m	8	1	鈴木 大地	安積高等学校 2年						
				増子 建紀	郡山商業高等学校 2年						
				古川 徹	郡山商業高等学校 1年						
スキー競技	種目	順位	得点	選手名	所属						
					兼子 佳代	東山温泉スキークラブ					
					少年男子	クロスカントリーリレー	8	1	渡部 颯	会津工業高等学校 3年	
									鈴木 健大	猪苗代高等学校 3年	
									鈴木 蓮	会津工業高等学校 2年	
				星 水月	南会津高等学校 2年						



スケート・アイスホッケー競技結団式



クロスカントリー競技結団式



アルペン・ジャンプ競技結団式

第70回 国民体育大会冬季大会寄稿

ぐんま冬国体を終えて

福島県立安積高等学校2年 鈴木 大地

私は前回の国体の2000Mリレーで初めて全国大会での入賞を経験し、今年一年間は個人種目でも入賞することを目標に練習に励んできました。しかし、私が通っている安積高校にはスケート部がありません。そのため夏場は、郡山商業高校のスケート部と一緒に、持久力や筋力を高める練習や、スケートの基礎を固める練習をしたり、リンクフィットネスに通って体幹トレーニングをしたりしました。また、北海道や桜枝岐での合宿にも参加させていただき、冬の大会に向けて力をつけることができました。

そして迎えた「ぐんま冬国体」。「個人種目での入賞」を目標にして大会に臨みましたが、私のベストタイムでは予選通過が難しい組み合わせでした。しかし、国体はシングルトラックレースなので、力は劣っていてもレース展開次第では決勝進出できると思い、レース前に先生方からいただいたアドバイスをもとに、頭の中でシミュレーションを重ねてレースに臨みました。

1500M予選。前半は理想のレース展開ができましたが、最後の500Mで判断ミスと実力差が出てしまい、予選落ちをしてしまいました。翌日行なわれた1000M予選は最も得意な種目でした。序盤に責任先頭を完了し、後ろに下がって体力を温存する、理想どおりにレースが進みました。ラスト100Mで4番目にいた私は、「絶対に決勝戦に出るんだ!」と力を振り絞り、前の二人を抜き2位で決勝に進出することができました。決勝戦では集団の後ろにつくのが精一杯でしたが、最後の直線で一人を抜き、6位入賞を果たすことができました。2000Mリレーはアクシデントが重なり、出場が危ぶまれましたが、先生方のサポートのおかげで6位入賞することができました。

このような結果を残せたのも、福島県スケート連盟や先生方、家族など、多くの方々の支え、応援があったからです。とても感謝しています。本当にありがとうございました。



クロスカントリー競技を終えて（ここ1年を振り返って）

クロスカントリー競技 コーチ 茂木 利幸

第70回国民体育大会スキー競技会クロスカントリー競技（ぐんま冬国体）で12年ぶりに少年男子リレーが8位に入賞することが出来ました。

今までも何回か入賞のチャンスがあったものの、入賞をものにすることが出来ず、長い年月が過ぎました。

今回のぐんま冬国体クロスカントリースキー会場は、標高1400mを超えていて、選手も調整が大変であったと思います。そんな中、本県選手団は誰一人体調を崩す選手がいませんでした。また、選手団全員（選手、監督、コーチ）のチームワークの良さもありました。そのため選手全員が思いっきり競技することができ、入賞につながったと思います。

スキー競技クロスカントリースキーは、1年を通して計画的に強化合宿、練習会を実施しています。夏場のハードな練習・合宿、シーズンインすれば、12月から1ヶ月、北海道で合宿をし、各A級大会に参加してきました。高校生、中学生は1度も家に帰らず疲労やストレスも押さえて、順調にトレーニングして頑張りました。

県内大会を終了し、国体メンバーが決まり、高校生は東北高校、インターハイ、高校選抜。中学生は東北中学大会、全国中学大会を経験して合宿以上に経験を重ね、着実に選手達は成長していました。

国体に入り全員疲労などもある中、体調万全、チームワーク良好状態でした。

選手以外でも選手をサポートする監督・コーチも良好でした。特にワックス専属のコーチは朝から夕方まで会場でワックスの選択をするため、少しでも選手のためになるように頑張っていました。その結果、どの種目も他県に比べ本県のスキーは滑走性が良かったと思います。

スキー競技クロスカントリースキーは個人競技ではありますが、選手個人の体力、持久力、スキーテクニックはもちろんですが、ワックステクニックも重要なテクニックであります。

今回も、選手団一丸になってのトレーナーによる選手の健康管理・サポート・応援も万全でした。やはりチームワークが大切な競技なのです。

本県選手団は現在のところ、個人でも、もう少しで入賞する選手もいました。ぜひ抜けて速いスター選手はいますが、全員で上を目指して努力することにより入賞も出来ることを証明したような大会でした。この少年男子リレーの入賞は選手の頑張り、ワックスチーム・監督・コーチ・トレーナーの福島選手団のチームの入賞であったと思います。

来年度も精進し、クロスカントリースキーの競技力向上を目指したいと思います。



福島県選手団として

東山温泉スキークラブ 兼子 佳代

第70回国民体育大会ぐんま冬国体においては、多くの方々のご協力、あたたかいご声援のおかげで4位入賞という結果を残すことができました。心より感謝いたします。

今大会、福島県選手団として出場するのは6年ぶりでした。結婚を機に秋田へ移住し、秋田県代表として何度か国体にも出ていました。福島県代表としてまた国体に出場できることがとても嬉しく、入賞してポイントを取りたいという思いがありました。

成年女子Bは25歳以上のクラスですが、オリンピックやワールドカップ出場経験のある選手や現役選手もそろいハイレベルな戦いとなりました。コースの特徴やラインどりを丁寧にイメージし、攻めの滑りをする事に集中しました。失敗するリスクもあるアルペン競技なので正直不安もありましたが、ゴールをして必ず入賞するという強い気持ちをもってレースに臨むことができました。ミスもいくつかありましたが、その中でももてる力を出すことができたかなと感じています。久々の福島県代表で今までにない緊張感もありましたが、少しでも貢献できたことを嬉しく思います。

今大会出場にあたり、支えてくださった皆様、応援をいただいた皆様に深く感謝致します。今後も今までの経験を生かしプレイングコーチという立場で、福島県の後輩やジュニア選手の育成に向けて少しでも力になっていければと思っています。



平成26年度 公益財団法人福島県体育協会 表彰式

平成26年度公益財団法人福島県体育協会表彰式は、1月20日に福島市のウエディングエルティにて行われました。式では受賞者の呼名の後、各賞代表者に内堀雅雄名誉会長、宗形守敏会長より表彰状が授与され、受賞者を代表して優秀選手賞を受賞された大堀彩さん(バドミントン競技)より謝辞がありました。表彰式終了後行われた懇談会では、名誉会長、会長が各テーブルを回り出席者の皆さんと親しく懇談されました。下記は今年度受賞された皆様です。(敬称は省略させていただきます。)

スポーツ功労賞 多年にわたり、本協会の運営並びに事務遂行に貢献し、本県スポーツの振興に功績のあった方々

- 笠原 賢二 (福島県テニス協会)
- 後藤 義信 (福島県ハンドボール協会)
- 渡部 孝美 (福島県スキー連盟)
- 櫻岡 祐一 (福島県サッカー協会)
- 鶴沼 秀雄 (福島県ラグビーフットボール協会)
- 齋藤 玉喜 (会津地域連合会)

優秀選手賞(個人) 本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を取った選手及び国際大会に出場した選手

陸上競技		ボクシング		ゴルフ	
齋藤 珠理 (二本松北小学校6年)	野尻野匡世 (尚志高校)	村上 真統 (平工業高校3年)	古館 佳樹 (会津若松市立第二中学校2年)	田邊 緋織 (会津学鳳中学校3年)	星 明里 (会津学鳳中学校3年)
山下 潤 (福島高校2年)	福本真恵七 (猪苗代中学校2年)	根本久美子 ((株)日東発條)	田邊 明里 (会津学鳳中学校3年)	星 明里 (会津学鳳中学校3年)	星 明里 (会津学鳳中学校3年)
渡部 佳朗 (喜多方桐桜高校3年)	仁平 菜月 (富岡高校1年)	蕪木由紀枝 (福島県弓道連盟)	笠間 はな (会津学鳳中学校3年)	笠間 はな (会津学鳳中学校3年)	笠間 はな (会津学鳳中学校3年)
布川 輝 (小高工業高校1年)	東野 有紗 (富岡高校3年)	吉田 和真 (猪苗代中学校3年華舞翔新体操倶楽部)	古川あさひ (会津学鳳中学校3年)	古川あさひ (会津学鳳中学校3年)	古川あさひ (会津学鳳中学校3年)
遠藤 日向 (学法石川高校1年)	大堀 彩 (富岡高校3年)	田中 啓介 (喜多方市立第二中学校3年華舞翔新体操倶楽部)	佐藤 佳依 (会津学鳳中学校2年)	佐藤 佳依 (会津学鳳中学校2年)	佐藤 佳依 (会津学鳳中学校2年)
伊藤 彩 (福島大学4年)	三橋 健也 (富岡高校2年)	渡部 剛弘 (明治大学3年)	長谷川晴歌 (ザペリオ学園中学校3年)	長谷川晴歌 (ザペリオ学園中学校3年)	長谷川晴歌 (ザペリオ学園中学校3年)
五十嵐麻央 (福島大学4年)	渡辺 勇大 (富岡高校2年)	星野 純子 (チームリステル)	藤田 らら (ザペリオ学園中学校3年)	藤田 らら (ザペリオ学園中学校3年)	藤田 らら (ザペリオ学園中学校3年)
青木沙弥佳 (東邦銀行)	古賀 穂 (富岡高校3年)	長谷部尚仁 (猪苗代高校3年)	吉田 天音 (謹教小学校5年)	吉田 天音 (謹教小学校5年)	吉田 天音 (謹教小学校5年)
渡辺 真弓 (東邦銀行)	村上 真統 (平工業高校3年)	長谷部宏仁 (猪苗代高校1年)	大竹 優奈 (城北小学校5年)	大竹 優奈 (城北小学校5年)	大竹 優奈 (城北小学校5年)
千葉 麻美 (東邦銀行)	村上 真統 (平工業高校3年)	長谷部宏仁 (猪苗代高校1年)	白石 桃子 (会津学鳳高校3年)	白石 桃子 (会津学鳳高校3年)	白石 桃子 (会津学鳳高校3年)
吉田 文代 (郡山女子大附属高校)	村上 真統 (平工業高校3年)	長谷部宏仁 (猪苗代高校1年)	遠藤 紫乃 (会津学鳳高校3年)	遠藤 紫乃 (会津学鳳高校3年)	遠藤 紫乃 (会津学鳳高校3年)
武石この実 (東邦銀行)	村上 真統 (平工業高校3年)	長谷部宏仁 (猪苗代高校1年)	田中 厚 ((株)田中スポーツ)	田中 厚 ((株)田中スポーツ)	田中 厚 ((株)田中スポーツ)
高橋 直生 (福島第一中学校2年)	村上 真統 (平工業高校3年)	長谷部宏仁 (猪苗代高校1年)	松村 俊祐 (福島県なぎなた連盟)	松村 俊祐 (福島県なぎなた連盟)	松村 俊祐 (福島県なぎなた連盟)
佐々木夢奈 (信陵中学校2年)	村上 真統 (平工業高校3年)	長谷部宏仁 (猪苗代高校1年)	蛭田みな美 (学法石川高校2年)	蛭田みな美 (学法石川高校2年)	蛭田みな美 (学法石川高校2年)
ソフトテニス		スキー		カヌー	
原野 亜衣 (住友ゴム工業(株)白河工場)	渡部 剛弘 (明治大学3年)	鈴木 康大 ((株)久野製作所)	原野 亜衣 (住友ゴム工業(株)白河工場)	鈴木 康大 ((株)久野製作所)	鈴木 康大 ((株)久野製作所)
米山 芽玖 (住友ゴム工業(株)白河工場)	星野 純子 (チームリステル)	國嶋 諭 (日本体育大学)	小谷菜津美 (住友ゴム工業(株)白河工場)	國嶋 諭 (日本体育大学)	國嶋 諭 (日本体育大学)
北野 亮介 (西郷第一中学校2年)	長谷部尚仁 (猪苗代高校3年)	根本 孝幸 (川崎市消防局)	北野 亮介 (西郷第一中学校2年)	根本 孝幸 (川崎市消防局)	根本 孝幸 (川崎市消防局)
サッカー		スケート		トライアスロン	
浅野 菜摘 (富岡高校2年)	水澤 彩佳 (日本体育大学1年)	菊池日出子 (トライアスロンアカデミー福島)	浅野 菜摘 (富岡高校2年)	菊池日出子 (トライアスロンアカデミー福島)	菊池日出子 (トライアスロンアカデミー福島)
北川ひかる (富岡高校2年)	杉本 隆雄 (Stable FEDERA)	長正 憲武 (福島第一中学校3年)	北川ひかる (富岡高校2年)	長正 憲武 (福島第一中学校3年)	長正 憲武 (福島第一中学校3年)
橋沼 真帆 (富岡高校2年)	今野 金哉 (福島県ウエイトリフティング協会)	長正 憲武 (福島第一中学校3年)	橋沼 真帆 (富岡高校2年)	長正 憲武 (福島第一中学校3年)	長正 憲武 (福島第一中学校3年)
大熊 良奈 (富岡高校1年)	清野 裕司 (福島明成高校)	長正 憲武 (福島第一中学校3年)	大熊 良奈 (富岡高校1年)	長正 憲武 (福島第一中学校3年)	長正 憲武 (福島第一中学校3年)
剣道		ウエイトリフティング		スポーツチャンバラ	
佐久間 聡 (福島県剣道連盟居合道部会)	今野 金哉 (福島県ウエイトリフティング協会)	本田 亮 (福島明成高校2年)	佐久間 聡 (福島県剣道連盟居合道部会)	本田 亮 (福島明成高校2年)	本田 亮 (福島明成高校2年)
塩見 俊夫 (福島県剣道連盟居合道部会)	清野 裕司 (福島明成高校)	吉村 勇輝 (郡山第三中学校1年)	塩見 俊夫 (福島県剣道連盟居合道部会)	吉村 勇輝 (郡山第三中学校1年)	吉村 勇輝 (郡山第三中学校1年)
井上 貴宏 (福島県剣道連盟居合道部会)	吉田 真弘 (デイスアービスいしかわ)	藤がいき者スポーツ協会	井上 貴宏 (福島県剣道連盟居合道部会)	藤がいき者スポーツ協会	藤がいき者スポーツ協会
水泳		レスリング		福島県中学校体育連盟	
但野 智哉 (鹿島中学校1年スポーツアカデミー相馬)	菅野 真央 (早稲田大学3年)	瀧澤 秀斗 (会津若松市立第四中学校3年)	但野 智哉 (鹿島中学校1年スポーツアカデミー相馬)	瀧澤 秀斗 (会津若松市立第四中学校3年)	瀧澤 秀斗 (会津若松市立第四中学校3年)
寺田 拓未 (湯本高校2年スウィン大教いわき)	佐藤 啓隆 (福島工業高校3年)	佐藤 皓人 (西袋中学校3年)	寺田 拓未 (湯本高校2年スウィン大教いわき)	佐藤 皓人 (西袋中学校3年)	佐藤 皓人 (西袋中学校3年)
服部 翼 (福島成蹊高校2年福島スイミングスクール)	菅野 直人 (田村高校3年)	吉田 拓実 (小名浜第一中学校3年)	服部 翼 (福島成蹊高校2年福島スイミングスクール)	吉田 拓実 (小名浜第一中学校3年)	吉田 拓実 (小名浜第一中学校3年)
自転車競技		競輪		なぎなた	
久保田元気 (日本大学4年)	鈴木 博恵 (クリナップ株式会社)	齋藤 俊慧 (会津学鳳中学校3年)	久保田元気 (日本大学4年)	齋藤 俊慧 (会津学鳳中学校3年)	齋藤 俊慧 (会津学鳳中学校3年)
緑川 峻一 (中央大学4年)	田野倉翔太 (クリナップ株式会社)	藤城 瑛人 (会津若松市立第三中学校3年)	緑川 峻一 (中央大学4年)	藤城 瑛人 (会津若松市立第三中学校3年)	藤城 瑛人 (会津若松市立第三中学校3年)
中村 滝一 (平工業高校3年)	前田 翔吾 (クリナップ株式会社)	渡部 悠雅 (会津若松市立第二中学校3年)	中村 滝一 (平工業高校3年)	渡部 悠雅 (会津若松市立第二中学校3年)	渡部 悠雅 (会津若松市立第二中学校3年)
近藤雄一郎 (学法石川高校3年)	皇 翔也 (日本体育大学4年)		近藤雄一郎 (学法石川高校3年)		
松本 道郎 (白河実業高校3年)	清水 徹 (田島高校3年)		松本 道郎 (白河実業高校3年)		
樋口 晴香 (順天堂大学4年)	湯浅 悠人 (田島高校2年)		樋口 晴香 (順天堂大学4年)		
バドミントン		なぎなた			
吉田 邦男 (ゼビオ郡山西ノ内店)	浅田 忠治 (福島高校1年)		吉田 邦男 (ゼビオ郡山西ノ内店)		
齋藤 勝明 (富士通グループ)	富田なひろ (福島第四中学校1年)		齋藤 勝明 (富士通グループ)		
五十嵐敏幸 (富士通グループ)			五十嵐敏幸 (富士通グループ)		
遠藤夫美子 (福島県バドミントン協会)			遠藤夫美子 (福島県バドミントン協会)		
山川美佐江 (福島県バドミントン協会)			山川美佐江 (福島県バドミントン協会)		
永井香代子 (福島県バドミントン協会)			永井香代子 (福島県バドミントン協会)		

優秀選手賞(団体) 本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を収めた団体

- | | |
|--------|---|
| 陸上競技 | ●第62回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 4×100mR 東邦銀行 |
| | ●第98回日本陸上競技選手権大会リレー競技 4×100mR 東邦銀行 |
| | ●第98回日本陸上競技選手権大会リレー競技 4×400mR 東邦銀行 |
| | ●第62回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 女子総合 東邦銀行 |
| ソフトテニス | ●第25回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会 女子都道府県対抗戦 福島県女子選抜チーム |
| サッカー | ●第69回国民体育大会 サッカー競技 女子 福島県選抜(女子) |
| 卓球 | ●第33回全日本クラブ卓球選手権大会 男子50歳の部 福卓会 |
| 剣道 | ●第49回全日本居合道大会(都道府県対抗優勝試合) 団体 福島県 |
| 自転車競技 | ●第69回国民体育大会 自転車競技会 男子4kmチームパーシュート 福島県自転車競技連盟 |
| バドミントン | ●平成26年度全国高等学校総合体育大会 バドミントン競技 男子学校対抗 富岡高等学校男子バドミントン部 |
| | ●第42回全国高等学校選抜バドミントン大会 男子学校対抗 富岡高等学校男子バドミントン部 |
| | ●平成26年度全国高等学校総合体育大会 バドミントン競技 女子学校対抗 富岡高等学校女子バドミントン部 |
| | ●第69回国民体育大会 バドミントン競技 少年男子 福島県 |
| | ●第69回国民体育大会 バドミントン競技 少年女子 福島県 |
| | ●第14回全日本中学生バドミントン選手権大会 福島県 |

- | | |
|------------|---|
| 柔道 | ●第42回全国高等学校選抜バドミントン大会 女子学校対抗 富岡高等学校女子バドミントン部 |
| 体操 | ●平成26年度 第45回全国高等学校定時制通信制柔道大会 福島県 |
| 馬術 | ●第32回全日本ジュニア新体操選手権大会 華舞翔新体操倶楽部 |
| | ●第69回国民体育大会 馬術競技 少年団体障害飛越競技 福島県 |
| | ●第48回全日本高等学校馬術競技大会 福島県立福島明成高等学校 |
| ウエイトリフティング | ●第50回全日本社会人選手権大会 チームきびたん |
| ボウリング | ●第20回文部科学大臣杯争奪全国高等学校対抗ボウリング選手権大会 女子の部 福島東稜高等学校 |
| | ●第21回文部科学大臣杯争奪全国高等学校対抗ボウリング選手権大会 女子の部 福島東稜高等学校 |
| ゴルフ | ●第69回国民体育大会 ゴルフ競技 女子 福島県 |
| 綱引 | ●2014全日本ジュニア綱引選手権大会(ジュニア360kg以下クラス) 行仁小学校 |
| 福島県中学校体育連盟 | |
| | ●平成26年度全国中学校体育大会 第45回全国中学校ソフトテニス大会 男子団体 西郷第一中学校 |
| | ●平成26年度全国中学校体育大会 第44回全国中学校バドミントン大会 男子団体 猪苗代中学校特設バドミントン部 |
| | ●平成26年度全国中学校体育大会 第44回全国中学校バドミントン大会 女子団体 猪苗代中学校特設バドミントン部 |

優秀指導者賞 優秀選手の育成に直接貢献した指導者

- | | |
|--------|---------------------------|
| 陸上競技 | ●川本 和久 福島大学 |
| ソフトテニス | ●大竹 咲絵 浅川中学校 |
| サッカー | ●松本 克典 富岡高校 |
| 水泳 | ●志田 正弘 スウィン大教スイミングスクール小名浜 |
| 水泳 | ●阿部 義之 スポーツアカデミー相馬 |
| 水泳 | ●八巻 洋志 スウィン大教スイミングスクール小名浜 |
| バドミントン | ●大堀 均 富岡高校 |
| バドミントン | ●本多 裕樹 富岡高校 |
| 柔道 | ●鈴木 繁生 学校法人 昌平賢 |
| 弓道 | ●高井 幸子 福島県弓道連盟 |
| 体操 | ●山田 智史 華舞翔新体操倶楽部 |

- | | |
|------------|-------------------|
| 馬術 | ●神保 太希 ヘレナ国際乗馬倶楽部 |
| 馬術 | ●渡邊 貴洋 福島明成高校 |
| ウエイトリフティング | ●長南 国彦 福島工業高校 |
| ウエイトリフティング | ●佐久間勝彦 ゼビオ(株) |
| 銃剣道 | ●木村 重男 福島県銃剣道連盟 |
| ボウリング | ●伊藤 寛 福島県ボウリング連盟 |
| ゴルフ | ●白土 岳子 巨人園 |
| 綱引 | ●小澤 宏史 東山小学校 |
| 福島県中学校体育連盟 | ●小豆畑隆則 西郷第一中学校 |
| 福島県中学校体育連盟 | ●齋藤 亘 猪苗代中学校 |

社会体育優良団体賞 地域・職域のクラブとしての活動を通して、本県の地域スポーツ振興に功績のあった団体

- 須賀川市卓球スポーツ少年団 ●柳津町スキークラブ

特別賞 国民体育大会の競技別優勝や世界大会で特に顕著な活躍をした団体・個人

- 鈴木猛史 駿河台大学 ●富岡高等学校バドミントン部 ●猪苗代中学校 富岡第一中学校 バドミントン部



謝辞 大堀彩さん



功労賞 櫻岡祐一さん



優秀選手 個人 五十嵐麻央さん



優秀指導者 松本克典さん



優秀選手 団体 ゴルフ競技女子福島県(高久あずささん)



社会体育優良団体 須賀川市卓球スポーツ少年団(薄井充良さん)



特別賞 猪苗代中学校 富岡第一中学校 バドミントン部(筑後恵太さん 高橋明日香さん)



特別賞 富岡高等学校 バドミントン部(大和田修さん)

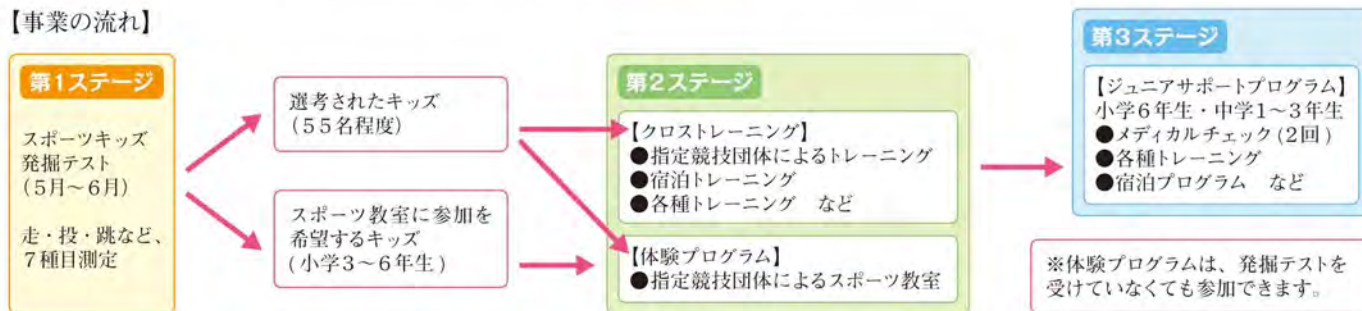
～公益財団法人福島県スポーツ振興基金(ふくしまスポーツキッズ活動支援事業)～

平成26年度うつくしまスポーツキッズ発掘事業 集まれ!! 未来のアスリート

将来有望な人材の発掘・確保・育成を目的に行ってきた本事業は、今年で10年目を迎えました。

「スポーツが大好き」「なにかスポーツをやってみたい!」という小学生を対象に、自分に合った種目や興味のあるスポーツに出会い、夢や希望をもってスポーツに取り組むことができるよう支援をしています。また、昨年度までに選考された6年生や中学生を対象としたジュニアサポートプログラムも実施しています。

【事業の流れ】



第1ステージ◆発掘テスト◆

第1ステージ・うつくしまスポーツキッズ発掘テストは、5月～6月にかけて県内の小学3年生～5年生を対象に、福島県内5会場で開催しました。県内すべての小学校に募集したところ、382名のキッズの応募がありました。各会場で元気に参加してくれました。

選考の結果、54名が第2ステージに進みました。

●スポーツキッズ発掘テストの内容 (7種目実施)

- ・25m走
- ・全身反応テスト
- ・反復横跳び
- ・四方向ステップ
- ・立ち五段跳び
- ・膝立ちボール投げ
- ・捕捉ゲーム (しっぽ取り)



●テスト会場・実施日・参加人数

開催地区	実施日	会場	時間帯	参加人数	備考
相 双	5月31日(土)	スポーツアリーナそうま	午後	9名	
県 北	6月 7日(土)	あづま総合体育館	午前	68名	2部制で実施
			午後	56名	
会 津	6月14日(土)	河東総合体育館	午後	61名	
県 南	6月21日(土)	須賀川アリーナ	午前	71名	2部制で実施
			午後	54名	
いわき	6月28日(土)	県立いわき光洋高校	午後	63名	
1回の定員を100名とし、5会場7回の実施			合計	382名	



●テスト会場・実施日・参加人数

学年	平成26年度			平成25年度		
	男子	女子	男女合計	男子	女子	男女合計
3年生	89	71	160	112	68	180
4年生	78	42	120	71	39	110
5年生	66	36	102	56	47	103
男女別合計	233	149	382	239	154	393



第2ステージ◆クロストレーニング◆

第2ステージに選考されたキッズたちは、本協会と競技団体が連携して実施するクロストレーニングに参加しました。

8月の開始式・コーディネーショントレーニングから活動がはじまり、12月の宿泊トレーニング・修了式・オリンピックデー・フェスタまでの全11回を行いました。

各トレーニングは、今まで体験したことのない競技に触れる機会が多く、キッズたちは目を輝かせて活動していました。それぞれのトレーニングから得た経験を、今後の活動に活かしてほしいと願っています。

日程	種目	主管団体	会場
8月30日(土)	開始式・コーディネーション	県体協(外部指導者招聘)	郡山ユラックス熱海
9月6日(土)	●バスケットボール	福島県バスケットボール協会	二本松市城山第二体育館
9月7日(日)	●カヌー(スプリント)	福島県カヌー協会	二本松市阿武隈漕艇場
9月20日(土)	●スプリントトレーニング	県体協(県体育協会職員)	福島県青少年会館体育館
9月28日(日)	●カヌー(スラワイ)	福島県カヌー協会	二本松市阿武隈漕艇場・阿武隈川島山コース
10月4日(土)	●レスリング	いわき市レスリング協会	クリナップ井上記念体育館
11月1日(土)	●ウエイトリフティング	福島県ウエイトリフティング協会	県立田村高等学校
11月3日(月)	●アイスホッケー	福島県アイスホッケー連盟	磐梯熱海アイスアリーナ
11月16日(日)	●卓球	福島県卓球協会	猪苗代町総合体育館
11月29日(土)	●ハンドボール	福島県ハンドボール協会	石川町総合体育館(クリスタルパーク石川)
12月20日(土) ～21日(日)	宿泊トレーニング・修了式	県体協(外部指導者招聘)	あづま総合体育館・同宿泊施設
12月21日(日)	オリンピックデー・フェスタinふくしま	日本オリンピック委員会(JOC)	あづま総合体育館



レスリング



アイスホッケー



コーディネーショントレーニング



親子食育プログラム



宿泊トレーニング

第2ステージ◆体験プログラム◆

クロストレーニングとは別に、小学3年生～6年生までを対象に、競技団体主催の体験教室を実施しました。

どの体験プログラムも、参加した子どもたちの生き生きとした表情が大変印象的でした。もっと多くの子どもたちに体験してほしいと思います。

日程	種目	主管団体	会場
8月10日(日)	トライアスロン	福島県トライアスロン協会	あづま総合運動公園
9月7日(日)	なぎなた	福島県なぎなた連盟	福島市国体記念体育館
9月7日(日)	ボート	福島県ボート協会	喜多市市営荻野漕艇場
9月15日(月)	水泳(シンクロ)	福島県水泳連盟	スポーツクラブ ルネサンスいわき
10月5日(日)	ホッケー	福島県ホッケー協会	ルネサンス棚倉 多目的広場
10月25日(土)	相撲	福島県相撲連盟	学法福島高校相撲場
11月8日(土)	アーチェリー	福島県アーチェリー協会	福島県青少年会館体育館
11月8日(土)	ボクシング	福島県ボクシング連盟	野宮フィットネスボクシング
11月15日(土)	テニス	福島県テニス協会	本宮市白沢体育館・テニスコート
12月7日(日)	山岳(ボルダリング)	福島県山岳連盟	クライミングジムTRAILROCK
1月10日(土)	スケート	福島県スケート連盟	磐梯熱海アイスアリーナ



ボルダリング



アーチェリー



ボクシング



スケート



ホッケー

第3ステージ◆ジュニアサポートプログラム◆

昨年度までに選考された小学6年生～中学3年生までのジュニア 48名を対象に、基礎運動能力の向上を主としたプログラムを実施しました。保護者対象の栄養学や、子どもの可能性を考える講習会も実施しました。

宿泊プログラムでは、横浜Fマリノスの望月先生によるサッカー教室のあと、日産スタジアムでプロの試合を視戦。翌日にはNTC(味の素ナショナルトレーニングセンター)の施設見学を行い、ハイレベルの試合や施設を見学・体験した2日間は、ジュニアの皆さんにとって目的意識を高める有意義な時間となりました。

日程	種目	主管団体	会場
6月15日(日)	第1回メディカルチェック①		
6月29日(日)	第1回メディカルチェック②	県体協(ARCクリニック)	ARCクリニック よしだ整形外科
8月3日(日)	第1回メディカルチェック③		
8月30日(土)	開始式・運動処方	県体協(外部指導者招聘)	郡山ユラックス熱海
11月2日(日)	第2回メディカルチェック①		
11月9日(日)	第2回メディカルチェック②	県体協(ARCクリニック)	ARCクリニック よしだ整形外科
11月16日(日)	第2回メディカルチェック③		
11月22日(土)	コーディネーショントレーニング	県体協(外部指導者招聘)	郡山カルチャーパーク体育館
11月29日(土) ～30日(日)	宿泊プログラム	県体協(外部指導者招聘)	横浜市(マリノスタウン・日産スタジアム) 東京都(味の素ナショナルトレーニングセンター)
12月21日(日)	修了式・ダンス	県体協(外部指導者招聘)	あづま総合体育館
12月21日(日)	オリンピックデー・フェスタinふくしま	日本オリンピック委員会(JOC)	あづま総合体育館



メディカルチェック



運動処方



コーディネーショントレーニング



サッカー教室(マリノスタウン)



NTC 施設見学

JOC主催◆オリンピックデー・フェスタinふくしま◆※第2・第3ステージ合同で参加

修了式を終えた午後から、JOC主催のオリンピックデー・フェスタinふくしまに参加しました。

スケートの清水宏保さんなど5名のオリンピックと一緒、4つの競技で汗を流しながら、笑顔で運動会を楽しんでいました。日本代表として世界で活躍したオリンピックと触れ合えたことは、とても貴重な経験となったことでしょう。

強く抱いた憧れの気持ちを、夢の実現に向けた活力にしてほしいと願っています。

【参加オリンピック】 清水宏保さん 大山加奈さん 田中理恵さん 穂積雅子さん 上田 藍さん



公益財団法人日本体育協会公認 指導員・上級指導員養成講習会開催

今年度は、指導員養成講習会が水泳・バレーボールの2競技、上級指導員養成講習会が卓球の1競技において、専門科目講習が県内各地で50名を超える受講者を集めて実施されました。

「指導員」とは日本体育協会が進める公認スポーツ指導者制度に基づき、個々人の年齢や性別などの対象に合わせた競技別の技術指導などにあたるための資格です。

「上級指導員」とは日本体育協会が進める公認スポーツ指導者制度に基づき、年齢、競技レベルに応じた競技別の技術指導などにあたるとともに、事業計画の立案などクラブ内指導者の中心的な役割を担う資格です。

受講者は、技術指導理論・実技や応急処置など種目に応じた科目を30時間以上受講し、その後検定試験を受けました。

今後は、地域のスポーツ指導者として活躍することが期待されます。



平成26年度 福島県スポーツ指導者研修会

福島県スポーツ指導者協議会では、指導者の資質向上と指導活動の充実を図るために年3回の研修会を実施しています。今年度の第2回は県北ブロックで、第3回は全県ブロックで開催しました。

第2回 県北ブロック研修会

期 日／平成26年11月30日(日)

場 所／飯坂学習センター

内 容／**講義** スポーツ指導方法「暴力・反倫理的行為の根絶をめざして」
～自発性・潜在能力を引き出すための指導方法 理論・実践～

講師 清水隆一コーチングカレッジ株式会社

代表 清水隆一氏

まず大塚製薬株式会社から、熱中症対策について情報提供がありました。

その後、清水隆一コーチングカレッジ株式会社代表清水隆一先生から、野球の指導者としての体験談や質問提案型の指導を取り入れ、選手の自発性や潜在能力を引き出す大切さの話がありました。また午後から、具体的な指導場面におけるコミュニケーションの取り方などについて、中学生の野球部員をモデルに実践指導を行いました。

受講者は、自分の競技の指導に生かそうと、真剣なまなざしで研修会に臨んでいました。



第3回 全県ブロック研修会

期 日／平成27年1月25日(日)

場 所／郡山ユラックス熱海

内 容／**特別講演** スポーツ指導方法「暴力・反倫理行為の根絶をめざして」
～スポーツ指導の勘どころ その技と心～

講師 国立大学法人福島大学人間発達文化学類教授 白石 豊氏

研究協議 公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者に関するアンケート調査から

まず大塚製薬株式会社から、熱中症対策について情報提供がありました。

次に、福島大学人間発達文化学類教授の白石豊氏をお迎えし、『スポーツ指導方法「暴力・反倫理行為の根絶をめざして」～スポーツ指導の勘どころ その技と心～』と題して、今後の指導で大切なこと(動きのコツを知る、コミュニケーションスキル、感情のコントロール)について、先生の経験を踏まえて話をいただきました。

最後に、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者に関するアンケート調査をもとに、研究協議が行われました。受講者から多くの意見が出されていました。

受講者は、今後の指導に生かそうと、真剣なまなざしで講義・研究協議に臨んでいました。



平成26年度 (公財)福島県体育協会認定アスレティックトレーナー養成講習会

期 日 平成26年11月15日(土)～11月16日(日)

会 場 福島県青少年会館

講 師 【11月15日】

堀川 哲男先生(公立藤田総合病院)

中澤 謙 先生(会津大学文化研究センター)

小林 光幸先生(ラソラックス鍼灸整骨院)

水野 兼志先生(みずの内科クリニック)

長総 義弘先生(ながおさ整形外科)

【11月16日】

大歳 憲一先生(福島県立医科大学)

山崎有理子先生(公立藤田総合病院)

鬼澤 武則先生(おにざわ接骨院)

内 容 県体育協会加盟団体・スポーツドクター部会・スポーツ医科学委員からの推薦者19名を対象に2日間にわたり専門科目の集合講習が行われました。アスレティックトレーナーの役割、スポーツ心理学、スポーツ外傷・障害の基礎知識、内科的障害、検査・測定と評価、予防とコンディショニング、スポーツと栄養などについての講義・実技をとおして、受講者はアスレティックトレーナーとしての資質の向上に努めました。認定アスレティックトレーナーも、スキルアップのために2名参加しました。カリキュラムには、今回の講習に加え、基礎科目として救急法講習や日本体育協会の「スポーツリーダー」講習があり、受講者は今年度中に全てを修了することになっています。

本協会の認定アスレティックトレーナーは現在65名ですが、アスレティックトレーナー部会の活動や研修会等をとおして、情報の提供・交換・共有を図り、競技力の向上や生涯スポーツの振興に結びつけていきたいと考えています。



うつくしま広域スポーツセンター講演会・シンポジウム

平成26年11月24日、二本松市安達文化ホールを会場に日本ビーチ文化振興協会理事長である朝日健太郎氏を講師としてお迎えし、講演会・シンポジウムが開催されました。

講演会では、「アスリート人生で得たもの」と題して、朝日健太郎氏が映像を交えてのビーチバレーボールの紹介やご自身の運動経験、運動を継続させるための目標設定の仕方や困難に直面したときの対処法などについて話されました。

シンポジウムでは、コーディネーターとして、中澤謙氏(公立大学法人会津大学文化研究センター上級准教授)、シンポジストとして、齋藤尚美氏(東京都杉並区教育委員会事務局スポーツ振興課事業係長)、原田和弘氏(国立長寿医療研究センター研究開発研究員)、朝日健太郎氏が参加され、より多くの人々がスポーツや運動を開始・継続するための働きかけについて意見交換をしました。原田氏は、行動変容理論に基づき運動習慣の獲得について、齋藤氏は、区民の実態調査をもとに行動変容理論を応用して作成した、杉並区のスポーツ推進計画について述べられました。スポーツ環境を変えることによりスポーツ・運動への意識や行動が変わっていくことを理解する貴重なシンポジウムになりました。



講演者 朝日健太郎 氏



コーディネーターの中澤氏



シンポジストの方々

パワーアップ・ジャパン from Tokyoふくしま大運動会inいわき

平成26年10月18日、東京都、一般財団法人日本アスリート会議が主催した「パワーアップジャパン from Tokyo」がいわき市総合運動場を会場として、盛大に開催されました。東日本大震災以降に開催された大運動会ですが、3回目となる今年は、トップアスリートが日本の人たちの心と身体を今まで以上に「パワーアップ」させる活動を展開することから、名称も「ウォームアップ」から変更になりました。

運営は、いわき総合型スポーツクラブユニオンが中心となり、関係機関と連携しながら進められました。今年もオリンピックや日本のトップアスリートにお越しいただき、1100名を越える方々が参加されました。

参加アスリート

- ◇中地 舞さん(第4回 FIFAワールドカップ出場 元女子サッカー日本代表)
- ◇朝原 宣治さん(北京オリンピック陸上競技男子4×100mリレー銅メダリスト)
- ◇柳本 晶一さん(アテネ・北京オリンピックバレーボール全日本女子チーム監督)
- ◇宮崎 義仁さん(1986年アジア競技大会卓球男子シングルス3位 ソウルオリンピック日本代表)
- ◇長崎 峻侑さん(2006年トランポリン世界選手権団体銀メダリスト)

当日は、午前中に「チャレンジスポーツ大会」として、綱引きやロープジャンプ、忍者リレーが行われ、アスリートと一緒に汗を流しながら、運動を楽しみました。



開会式後の集合写真



忍者リレーの様子



ロープジャンプ

午後は、アスリートから直接指導を受けるアスレチックスポーツ教室と子どもから高齢者まで幅広い方々がスポーツに親しめるレクリエーションスポーツが行われました。アスレチックスポーツ教室では、スキルアップにつながる指導や練習を行い、参加者はアスリートの技能の高さを肌で感じながら、熱心に取り組みました。レクリエーションスポーツでは、スポーツ吹矢やラダーゲッターなど普段運動をしない方でも楽しんでいただける種目が設定され、幼児でも楽しく体験することができました。最後に、各会場において、アスリートより励ましの言葉もいただきました。



中地さんのサッカー教室



朝原さんの陸上教室



宮崎さんの卓球教室



長崎さんのトランポリン教室



柳本さんのバレーボール教室



スポーツ吹矢の様子

みんなで作ろう総合型！
総合型地域スポーツクラブ

笑顔で健康 みんな元気な さめがわむら

さめがわスポーツクラブは、平成22年9月27日に東白川郡鮫川村に発足しました。「誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも」気軽にスポーツを楽しめる環境づくりを目指し、地域住民の自立的な社会参加を促進し、スポーツを通して健康・福祉・子育て支援ならびに、幅広く幼児から高齢者まで気軽に参加出来る、楽しめるスポーツ活動の場を提供する事業に取り組んでおります。

平成26年10月には法人格を取得し「特定非営利活動法人さめがわスポーツクラブ」となり、活動の幅を広げております。今後も当クラブの設立目的及び基本理念に基づきながら、地域スポーツ振興・健康増進・青少年健全育成さらには地域の活性化と地域住民の生活向上のため活動してまいります。

<定期教室>

- ・グラウンドゴルフ教室
- ・エアロビクス教室
- ・陸上教室
- ・キッズスポーツ教室
- ・スイミング教室
- ・バレーボール教室
- ・卓球教室
- ・バドミントン教室
- ・健康体操教室
- ・ジュニアスポーツ教室
- ・サッカー教室



エアロビクス教室



グラウンドゴルフ教室



キッズスポーツ教室



ニュースポーツ教室



チャレンジ・スポーツ教室
「サンタでスキーツアー」

<不定期教室>

- ・トレッキング&温泉ツアー(年2回)
- ・登山教室(年2回)
- ・ニュースポーツ教室(年2回)
- ・ノルディックウォーキング・ツアー(年2回)
- ・チャレンジスポーツ教室(5回)
- ・元オリンピック選手によるスポーツ教室(年1回)

<イベント>

- ・グラウンドゴルフ大会
- ・バドミントン大会



元オリンピック選手によるバレーボール教室



スイミング教室



トレッキング&温泉ツアー
尾瀬沼トレッキング

お問い合わせ先

特定非営利活動法人さめがわスポーツクラブ
〒963-8401
福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字宿ノ入64
鮫川村農業者トレーニングセンター内
TEL/FAX: 0247-49-3295
E-mail: skynet825@ninusu.ocn.ne.jp

広域スポーツ センター

「総合型地域スポーツクラブ」の
創設、育成、定着を支援します。
お気軽にご連絡ください。

うつくしま広域スポーツセンター (県体育協会事務局内)

〒960-8065 福島市杉妻町5番75号福島県庁東分庁舎3号館
http://www.u-kouiki.jp/USC.html
E-mail: utsukushima@u-kouiki.jp

TEL 024-526-4680 FAX 024-526-4681

浜通り広域スポーツセンター (いわき市民プール管理棟内)

〒970-8032 いわき市平下荒川字南作101
http://www.u-kouiki.jp/USC.html

TEL 0246-29-8608 FAX 0246-29-8608

(公財)福島県体育協会賛助会員名簿

～私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

《法人・団体特別会員》

東亜道路工業(株)福島営業所
(有)カネチョウ坂本商店
(株)環境分析研究所
福島県信用保証協会
福島テレビ(株)
(一財)ふくしま未来研究会
(福)創世福祉事業団
(株)久野製作所

クリヤマ(株)仙台営業所
福島県ゴルフ連盟
(株)テレビユー福島
福島県商工信用組合
クリナップ(株)いわき事業所
(株)東邦銀行
(公財)仁泉会
福島県議会スポーツ振興議員連盟

エクセルツリー(株)
福島県旅館ホテル生活衛生同業組合
(株)セントラル住設
(株)ダイユーエイト
(株)エアコレクト
東北建設(株)
(株)ヨークベニマル

《法人・団体会員》

大邦産業(株)
(有)古川瓦建材
野田陸上クラブスポーツ少年団
みずの内科クリニック
(公財)藤田教育振興会
菅野建設(株)
キング印刷(株)
クレハ錦建設(株)
月電工業(株)
福島ヤクルト販売(株)
(株)日産サテオ福島
北斗印刷(株)
(株)NIPPO福島統括事業所
堀江工業(株)
(株)福島中央テレビ
(株)クレハ環境
(株)三宅新聞店
キョウワセキュリオン(株)
福島県立医科大学器官制御外科学講座
(有)大波商店
関場建設(株)
福島キヤノン(株)
(株)幸楽苑
入三機材(株)
(株)サンライト
(株)グレイス福島
あんしんFPふおあさいと
(株)絹川建設工業
(株)マルコ物流
東日本テクノロジー(株)
※他に匿名希望 6(法人・団体)

(有)挽野自動車
(株)高橋建設
(株)山口工芸
(株)佐藤信博建築設計事務所
東信建設(株)
福島県信用金庫協会
第一温調工業(株)
(株)セルラー電話サービス福島
(株)クラロン
福浜大一建設(株)
(株)東北装美
(株)ル・プロジェ
(株)モリヨシ技研
(株)海老名建設
FSGカレッジリーグ
(株)ユアテック福島支社
(株)福島製作所
東北電力(株)福島営業所
(株)ファミリーケア
(株)旭電化
(有)おりおり
(一財)大原総合病院
東栄物産(株)
(株)グラコム
(株)ヤスタ創建
(株)善邦
(株)安藤組
にいでの運送(有)
(株)丸や運送
(株)岡部

(株)フジゴルフガーデン
ふくしま陸上スポーツ少年団
(有)吾妻印刷
川俣貨物(株)
大宝建設(株)
(株)ウエディングエルティ
磐城運通(株)
名鉄観光サービス(株)福島支店
(株)福南電気
東北索道協会福島地区部会
江花建設(株)
(有)エンドースクリーン
小名浜製錬(株)小名浜製錬所
福島日産自動車(株)
月電ソフトウエア(株)
(株)クレハ生産本部いわき事業所
ワタナベカーベット(株)
(株)メディア・ネットワーク
内池醸造(株)
タカラ印刷(株)
(株)福島放送
(株)友愛
(有)佐平
六陽印刷(株)
原町港湾運送(株)
(株)アポロガス
(有)野地建設
(株)アスク
小勝左官工業(株)
福島訪問歯科医院

《個人特別会員》

御代田 公 男 山 本 和 子

《個人会員》

小 杉 誠 八 卷 一 夫 加 藤 誠 一 伊 藤 隆 司 柴 野 照 夫 松 本 裕 治	高 倉 好 博 坂 本 孝 夫 水 戸 眞 由 子 藤 藤 俊 一 藤 藤 一 松 本 裕 治	菅 野 豊 行 木 村 喜 八 郎 安 藤 喜 正 勝 伊 藤 俊 一 柴 野 照 夫 松 本 裕 治	太 田 正 秋 深 谷 秀 三 小 松 信 之 野 崎 豪 正 岐 ひろみ 北 村 石 家 祥 一	国 井 裕 一 片 平 俊 夫 富 田 孝 志 渡 邊 正 隆 井 隆 太 郎 佐 藤 昌 志 永 井 祥 光	荒 川 信 郎 堀 田 満 祐 小 富 田 孝 志 永 井 隆 太 郎 佐 藤 昌 志 永 井 祥 光	菅 野 日 出 喜 鈴 木 義 祐 安 藤 本 常 隆 廣 瀬 敬 彦 佐 藤 誠 石 田 洵 博	五十嵐 義 櫻 井 和 朋 齋 藤 常 隆 阿 部 正 美 齋 藤 久 男 石 長 岐	佐 藤 十 次 櫻 井 和 文 齋 藤 千 賀 子 阿 部 正 美 齋 藤 久 男 石 長 岐	(平成26年3月12日～平成27年3月16日) (順不同・敬称略)	※他に匿名希望 3(名)
---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----------------------------------	--------------

賛助会員加入のお願い

本協会では、県民の皆様からのご支援により本県スポーツの推進を目的とする事業にご賛同いただける賛助会員の募集を年間を通して行っております。
皆様におかれましては、趣旨をご理解のうえ、賛助会員としてご入会いただき、本県スポーツの推進の一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

賛助会費(年会費)

○個人賛助会員
1口 10,000円(1口以上何口でも可)
○法人・団体会員
1口 10,000円(1口以上何口でも可)
※個人会員は3口以上、法人・団体会員は5口以上で特別会員となります。
詳しくは、本協会ホームページをご覧ください。

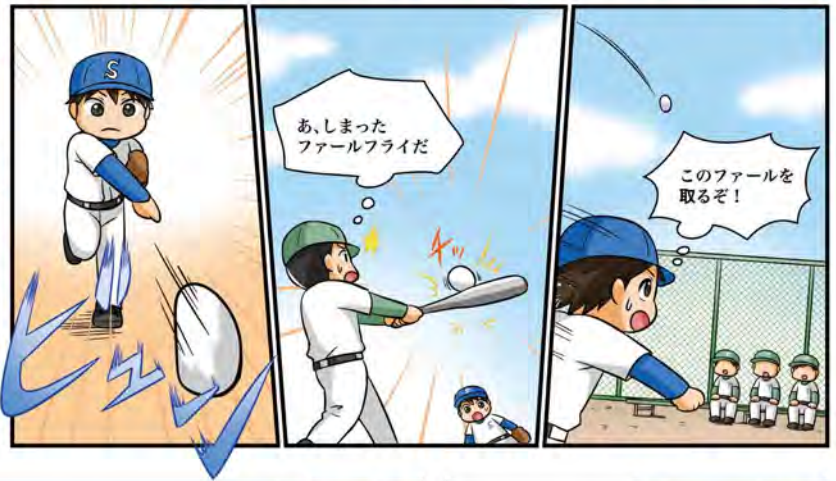
問い合わせ先

〒960-8065 福島市杉妻町5番75号
公益財団法人 福島県体育協会
電話 024(521)7896
FAX 024(521)7971
E-mail info@sports-fukushima.or.jp

編集後記

第70回国民体育大会冬季大会では、スケート競技において全種別(少年男女・成年男女)で入賞を果たし、スキー競技クロスカントリー少年男子リレーでも12年ぶりに入賞をするなど、県民を大いに元気づけてくれました。

「スポーツの力でふくしまを元気に」をモットーに、これからも県民の皆様にはスポーツの明るい話題を提供できるように努力してまいりますので、ご愛読のほどよろしくお願いいたします。



傷害保険 賠償責任保険 突然死葬祭費用保険

スポーツ安全保険

5名以上の団体・グループで
ご加入ください。

対象となる事故 団体活動中の事故 / 往復中の事故
保険期間 平成27年4月1日午前0時から平成28年3月31日午後12時まで
(申込受付は平成27年3月から)

加入区分・掛金・補償額 団体活動を行う5名以上の方々でご加入ください。加入区分は加入者ごとに選択ください。

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (1人あたり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額	
				死亡	後遺障害 (喪失)	入院 (日額)	通院 (日額)			
子ども 中学生以下 特別支援学校 高等部の 生徒を含む。	スポーツ活動 文化・ボランティア・地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故5億円 ただし、対人賠償は1人1億円 対人・対物賠償 合算1事故500万円 ただし、対人賠償は1人500万円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円	
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 AW区分の特典：個人活動・個人練習なども補償の対象となります。 上段：団体活動中およびその往復中の補償額 下段：上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円			
	高校生以上 65歳以上 の方も加入 できます。	文化・ボランティア・地域活動、団体の送迎、応援、準備、片付け ※スポーツ活動を行う場合は対象となりません。	A2	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故5億円 ただし、対人賠償は1人1億円 ⚠️自動車事故によって賠償責任 を負った場合は、補償の対象 となりません。	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
	65歳以上	スポーツ活動 ※C区分でも加入可 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動を行わない場合はA2区分	C	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円			



携帯電話から資料請求ができます。

スポーツ安全協会 検索
インターネットからも
加入受付を行って
おります。詳しくは、ホーム
ページをご覧ください。

公益財団法人 スポーツ安全協会 福島県支部

〒960-8065 福島市杉妻町 5-75 福島県庁東分庁舎 3号館 TEL024-526-4600 電話受付時間：午前9時～12時、午後1時～5時(土、日、祝日を除く。)

保険の詳細内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。
<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受付けております。

(引受幹事保険会社)
東京海上日動火災保険株式会社(担当課/公務第2部公務第1課
TEL 03-3515-4133(平日9:00~17:00)
(共同引受保険会社(平成27年4月予定))
あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン日本興亜 大同火災 東京海上日動
日新火災 富士火災 三井住友海上